

## 令和2年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	Tutti 音楽Ⅱ (教育出版)						
副教材等	なし						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「鑑賞」の3つの分野を年間通して学習します。
- ・音楽Ⅰで取得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わうことを目指します。又、音楽文化についての理解を深め、読譜力を身につけ、個性豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養うことを目指します。
- ・学習の到達度は、実技テストのほか、ノートやプリントの提出、授業への取り組みの積極性で評価します。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

## 2 学習の到達目標

音楽Ⅰで取得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わう。又、音楽文化についての理解を深め、読譜力を身につけ、個性豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養う。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 筆記テスト	演奏の聴取	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ハーモニカを味わって豊かな声で歌いあげよう	歌唱 合唱 〔TSUNAMI〕 「海の声」	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	もう ギターとリコーダーの合奏を楽しもう	器楽 ギター リコーダー 合奏 「乾杯」	○	○	○		a: ギターやリコーダーに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
2学期	音楽を聴く力をつけよう	鑑賞 時代とオーケストラの変遷	○			○	a: 時代の流れによるオーケストラ編成の違いを学び、音楽の表現上の効果に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	日本の心を感じ取ろう	箏曲 かごめかごめ 日本の民謡の特徴や	○	○	○		a: 日本の伝統音楽や郷土に関心を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 伝統音楽の音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取

3学期	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	器楽 ギター キーボード 合奏 「夢の中へ」	○	○	○	<p>a: ギターやキーボードの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。</p> <p>c: 弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。</p>	観察 演奏の聴取
	イメージをもつて豊かな声で歌いあげよう！	歌唱 島唄 Tomorrow 川の流れるように	○	○	○	<p>a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。</p>	観察 演奏の聴取
	ハーモニーを味わって豊かな声で歌いあげよう	合唱 冬のうた	○	○	○	<p>a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。</p>	観察 演奏の聴取
	アンサンブルの楽しみ	器楽 アンサンブル	○	○	○	<p>a: さまざまなアンサンブルに関心を持ち、それぞれの楽器を生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: 様々な楽器の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。</p>	観察 演奏の聴取 ワークシート

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度      b: 音楽表現の創意工夫  
c: 音楽表現の技能      d: 鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。